お客様との関わり

― 行動基準 ―

常にお客様の視点で行動し、確かな品質ときめ細やかなサポートにより、お客様に安心を届けます。常にお客様が真に求めるものが何かを追求し、お客様の期待を超える新しい価値を提案します。

品質の確保

品質方針

私たちは、ヘルスケア分野でのグローバルな企業活動を通じて、豊かな健康社会づくりに貢献します。

行動基準

1. お客様のニーズを把握し、お客様の期待を超える製品やソリューションを提供します。
2. 品質とは顧客満足であるという認識のもと、お客様の立場に立って行動します。
3. お客様に安心していただくために、徹底した品質保証とあらゆる業務における質の向上に努めます。
4. 独創的な新しい技術とナレッジによって、新たな価値を創り続けます。
5. 使用される国または地域の法令、規格等を遵守し、安全な製品を提供します。
6. 品質マネジメントシステムの有効性を維持するとともに継続的な改善を図ります。
7. 品質方針から品質目標を設定し、目標達成に向けて計画的に取り組みます。

2007年5月改定

グローバルな品質マネジメントシステム

シスメックスでは、「品質方針」「行動基準」および「シスメックスコーポレーション品質コンプライアンス方針」に基づき、国際的な法令、規格などを遵守するための体制を整備し、活動しています。

品質マネジメントシステムについては、開発・生産機能を持つほぼすべてのグループ会社で国際規格ISO9001またはISO13485※1に則ったマネジメントシステムを構築しており、グループ全56社中37社がISO9001の、18社がISO13485の認証を取得しています。これらのマネジメントシステムが確実に運用されていることを確認するために主要なグループ会社の品質活動についてマネジメントレビューや品質監査を実施しています。

教育については、全従業員を対象とした品質方針教育に加えて、特定の部門・職種を対象とした専門的な品質教育も実施しています。2013年度は、FDAやカナダ医療機器法規則に関する教育などを実施しました。

さらに、グループ全体で品質に関する情報を共有し、体制を強化するために、毎年1回、シスメックス(株)と、米州、EMEA※2、中国、アジア・パシフィックの各統括現地法人や関係会社から品質関連部門の担当者が参加する「グローバルRAQA(レギュラトリーアフェアズ・クオリティ アシュアランス)会議」を開催しています。

グローバルRAQA会議でのセッション

※1 ISO13485:医療機器産業向けの品質マネジメントシステム規格。

※2 EMEA:欧州、中東、アフリカ地域。

製品の品質を確保するために

臨床検査で用いられるシスメックスの製品は、人々の生命と健康を守るうえで極めて重要な役割を果たしています。そのため、製品の設計・開発段階において、世界各国の安全規格を満たすことはもちろん、さまざまなしくみを構築して、製品品質の維持・向上を図っています。

新製品の開発においては、市場に導入するまでのプロセスにおいて5つの「クオリティ・ゲート」を設けて品質を確認しています。このほか、シスメックスが販売する他社製品についても製造業者への監査や製品の検査を実施し、品質確保に努めています。

さらに、2011年4月から導入したグローバル品質苦情処理システムによって、グローバルかつタイムリーに市場から品質情報を収集しています。不具合情報を入手した際は、直ちに原因を究明し不具合品の市場流出を防止しています。2013年度はこの体制を強化するため、グローバルに不具合情報や是正処置・予防処置を共有するための電子システムを構築しました。

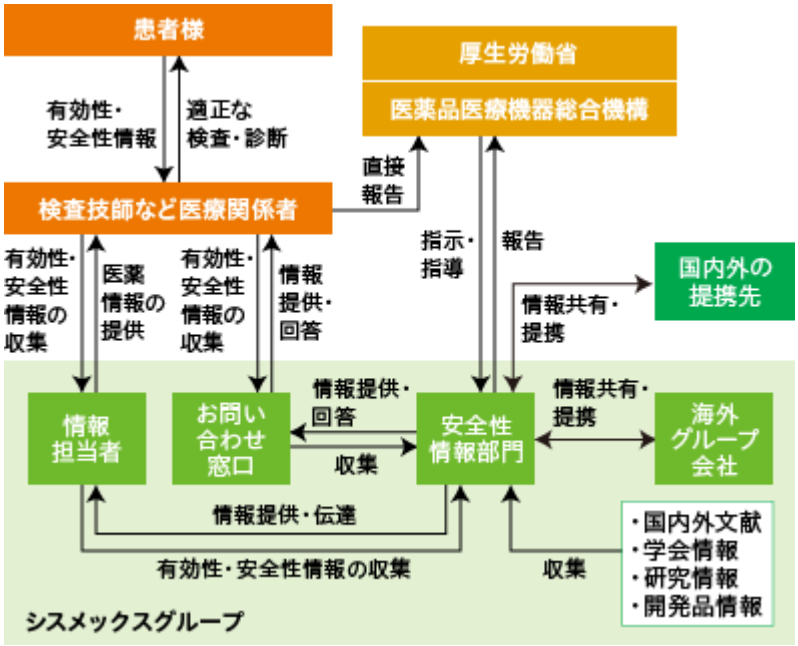
安全性・品質に関する情報

お客様からの情報を社内で共有化

シスメックスは、製品の品質と安全性に関する情報を管理する安全性情報部門を設置しています。

お客様などから寄せられた品質や安全性に関する情報を調査・分析し、その結果をお客様にお伝えするとともに、当社設計・製造部門などの関連部門と共有することで、品質の改善や新製品の開発などに活かしています。

製品の品質と安全性に関する情報を管理する体制



Webサイトで回収・改修の情報を開示

シスメックスでは、製品の回収・改修などの情報を「製品に関する重要なお知らせ」としWebサイトに掲載しています。

偽装試薬への注意喚起を実施

シスメックスでは、正確な検査結果を確保するために、医療機関のお客様には純正の装置と試薬のセットで使用いただくようお願いしています。近年、一部の地域でシスメックス製試薬を偽装した試薬の流通が発見されています。これら偽装試薬を使用した場合、検査結果の信頼性が確保できず、場合によっては患者様に健康被害をもたらす危険性もあります。

こうした偽装試薬の市場流通状況を継続的に監視しており、偽装試薬を発見した場合は、現地新聞に注意喚起を促す広告を出すように努め、また、各国の行政への協力や、必要に応じて司法への告発などに取り組んでいます。

サービス&サポート

お問い合わせに、迅速・確実にお応えするために

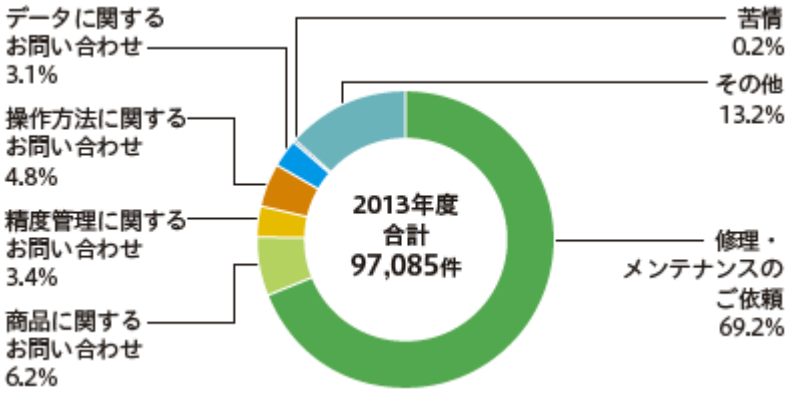
シスメックス(株)では、日本国内のお客様のための相談窓口「カスタマーサポートセンター」を設置し、豊富な知識を持った専任スタッフが、24時間365日体制(別途契約が必要)でお問い合わせに対応しています。同センターでは、過去のお問い合わせ内容やメンテナンス履歴などを蓄積し、すぐに参照できるようにすることで、お客様からのお問い合わせ・ご要望に迅速・確実にお応えしています。

2013年度には、お客様の声を分析し、関係者に情報をフィードバックする専門部署「VOCグループ課」をセンター内に立ち上げました。単にお困りごとに対応するだけではなく、新たな付加価値を生み出せるような対応を目指し、将来的には、グローバルに取り組みを展開していきたいと考えています。

なお、相談窓口は米州、EMEA※、中国、アジア・パシフィックの各統括現地法人にも設置しています。

※ EMEA:欧州、中東、アフリカ地域。

■ カスタマーサポートセンターへのお問い合わせ内容の内訳



カスタマーサポートセンターでのお問い合わせ対応

精度管理の質を向上するため、ISOを活用

シスメックス(株)は2013年度、当社が提供している血球分析装置の校正サービスについてISO/IEC 17025※1の認定を取得しました。また、一般検査、血液学的検査、生化学的検査、免疫学的検査、その他の検査における外部精度管理サービスであるSNCS※2とeQAPi※3に関して、臨床検査分野のみならず全産業分野で国内初となるISO/IEC 17043※4の認定を取得しました。

これによって当社は、国際規格で認定された校正機関および外部精度管理(技能試験)提供者として、お客様により価値の高いサービスを提供することができるようになりました。

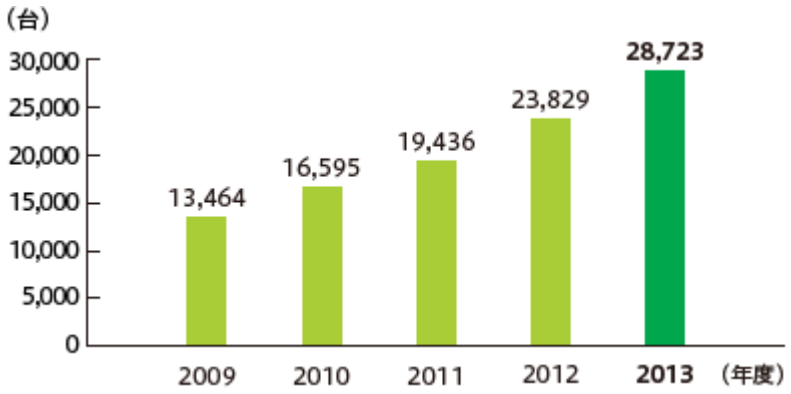
※1 ISO/IEC 17025:「試験所および校正機関の能力に関する一般要求事項」の国際規格。

※2 SNCS:上記記事「お客様の日々の精度管理をサポート」参照。

※3 eQAPi:大規模なリアルタイム外部精度管理サービス。リアルタイムに測定データの判定結果が得られ、日常検査の精度向上に役立てられる。

※4 ISO/IEC 17043:「適合性評価−技能試験に対する一般要求事項」の国際規格。

■ オンライン精度管理サービス（SNCS、eQAPi）に登録いただいている検査装置の世界累計



顧客満足度の向上

顧客満足度の調査

シスメックス（株）では、全国規模の学会や展示会にご来場いただいたお客様に、「シスメックスの営業・サービス活動に対する評価」のアンケート調査を実施しています。いただいたご要望やご意見には迅速に対応・改善し、お客様の満足度向上に努めています。また、新製品を購入いただいたお客様には、製品の機能、操作性に関するご意見・ご感想を直接お伺いし、製品開発部門にフィードバックしています。こうした取り組みに加えて、お客様に関するさまざまな情報を一元的に管理できるCRM（カスタマーリレーションシップマネジメント）システムの構築を進めています。2013年度には、営業関連のシステムを部分的に稼働しました。今後は当システムを活用して、個々のお客様にあわせたきめ細かな提案を図っていきます。

海外のお客様については、来日された際の事業所・工場見学の機会などにご意見を伺うとともに、海外グループ各社が、独自に顧客満足度の調査をしています。

取扱説明書のユーザビリティ改善による顧客満足度向上

シスメックスでは2013年度、顧客満足の向上を目指して取扱説明書の改善を実施しました。改善にあたっては、まずコールセンターへの問い合わせ内容と取扱説明書の記載内容を照合するなどして課題を抽出。次に、これらの課題を改善した取扱説明書を試作し、国内外で実際のユーザーに評価していただきました。

そこでいただいた意見を踏まえ、さらには人間中心設計手法を活用することでユーザビリティに優れた取扱説明書を作成することができました。

安定供給

医療に不可欠な製品を安定提供するために

シスメックスでは、検査機器に関して、製品ごと・拠点ごとに適正在庫を設定し、常に安定した供給ができるようにしています。さらに、グローバルな需要拡大に備えるために、兵庫県加古川市に機器生産工場「アイ スクエア」を設立し、2014年6月に竣工しました。新工場「アイ スクエア」は、安定供給に配慮して地震発生時にも生産インフラや倉庫を保護する免震構造などを採用しています。また、2013年度にはシスメックスメディカとシスメックスRAの工場も拡張しました。

試薬においても、さまざまな角度から安定供給に努めており、シスメックス(株)での適正在庫の管理を完了させました。また、災害時に備えた対応として、海外生産によるリスク分散や調達リスクのある原材料の代替化も進めています。

さらに、安定供給のための設備更新も進めており、2013年度には試薬製造を担うシスメックス国際試薬の工場で、試薬製品を保管する冷蔵庫2基および冷凍庫2基の冷却機を、1系統から2系統へ更新しました。1系統が故障しても、もう一方の系統で規定温度を保持できる能力があるため、故障により規定温度を逸脱したために多くの試薬が出荷できなくなるというリスクが低減されました。

アイ スクエア(加古川新工場)

機器生産拠点の概要

	シスメックス(株) (アイ スクエア)	シスメックス(株) (既存工場)	シスメックスメディカ (既存工場の拡張)	シスメックスRA (既存工場の拡張)
所在地	兵庫県加古川市 野口町	兵庫県加古川市 野口町	兵庫県姫路市 夢前町	長野県塩尻市 広丘野村
敷地面積	約30,000m^2	約12,000m^2	約7,300m^2	約6,100m^2
延べ床面積	約20,000m^2	約9,800m^2	約4,400m^2	約6,000m^2
投資額	39億円	—	5億円	3億円
主な生産品目	高機能モデル	コンパクトモデル	高機能ユニット	検体検査機器 の周辺機器

学術活動

医療従事者向けの学術セミナーを開催

シスメックスは、医師や臨床検査技師などの医療従事者の方々を対象としたセミナーや勉強会を開催し、学術情報を発信しています。

2013年6月には、神戸・東京・仙台・福岡の4会場を衛星中継で結び、第36回シスメックス学術セミナーを開催しました。今回のテーマは「造血・免疫組織はワンダーランド　～病理検査と血液検査の溝を埋めるとともに 診断・治療技術の進歩について理解を深める狙い～」であり、1,300名以上の方々にご参加いただきました。

第36回学術セミナー

学術雑誌や教育・啓発絵本などを発行

シスメックスでは、「シスメックスジャーナル・インターナショナル」（日本語版、英語版、中国語版）を、世界100カ国以上の医療機関や大学図書館に配布し、多くの医療関係者の方々に臨床医学および検査に関する最新の情報を発信しています。

また、病気や検査に関する教育・啓発のための絵本を作成し、病院・診療所などの医療機関に配布して、待合室などに置いていただいています。病気の特徴や検査・治療の方法について、わかりやすく紹介したもので、医学の知識がない方々や子どもにも興味を持って読んでもらえるよう、物語形式としています。

従業員との関わり

ー 行動基準 ー

多様性を受け入れ、一人ひとりの人格や個性を大切にすると共に、安心して能力が発揮できる職場環境を整えます。自主性とチャレンジ精神を尊重し、自己実現と成長の機会、成果に応じた公正な処遇を提供します。

人権・多様性の尊重

グローバルコンプライアンスコード（抜粋）

8. 人権の尊重と安全・衛生の向上

私たちは、世界人権宣言、ILO中核的労働基準等の人権に関する国際基準を支持し、一人ひとりの基本的人権を尊重し、差別や嫌がらせ等の行為を行いません。また、各国・地域の労働関連法令等を遵守し、職場の安全・衛生に努めるとともに、不当な労働を強制しません。

8-1 差別および嫌がらせ等の禁止
性別、年令、国籍、人種、民族、信条、宗教、社会的身分、門地、疾病、障害などに関する差別的言動、ならびにセクシャルハラスメント、パワーハラスメントなどの人格を無視する行為を行ってはならない。

8-2 プライバシーの尊重
個人の多様な価値観を認めあうとともに、一人ひとりのプライバシーを尊重し、知り得た個人情報をみだりに話したり、不必要に知ろうとしてはならない。

8-3 強制労働・児童労働の排除
強制や意思に反しての不当な労働を強制してはならない。また、各国・地域の法令等に定める雇用最低年齢に満たない児童を就業させてはならない。

8-4 職場の安全・衛生の確保
誰もが安心して働けるよう、各国・地域の安全・衛生関連法令等を遵守するとともに、心身の健康の維持向上に取り組み、安全で快適な職場づくりに努めなければならない。

多様な人材を受容する「Diversity & Inclusion」

シスメックス（株）では、単に多様な人材が在籍する「Diversity」から、多様な人材が働きやすい環境を整備し、受容する「Diversity & Inclusion」を目指して、国籍、人種、性別、障害の有無に関係なく人材を登用し、適材適所の配置を実施しています。

世界人権宣言、ILO中核的労働基準などの人権に関する国際基準を支持

シスメックスは、コンプライアンスコードの「8.人権の尊重と安全・衛生の向上」において、基本的な人権を尊重する上で遵守すべき特に重要なルールや行動のガイドラインを定めています。このコードでは、あらゆる差別的取り扱いを行わないこと、セクシャルハラスメントやパワーハラスメントなどの人格を無視した行為をしないこと、児童労働・強制労働などをさせないこと、安全で快適な職場環境を確保することを明示しています。また、これらを実践するため、随時研修などを実施しています。2013年度は、管理専門職を対象として、「ハラスメント」「労務管理」「労働者派遣法」のそれぞれをテーマとする研修を実施しました。

さらに、2014年5月にはグローバル企業として世界的な人権課題を踏まえて同コードを改定し、世界人権宣言、ILO中核的労働基準などの人権に関する国際基準を支持することを明記しました。

人権に関する相談・通報制度

国内グループ会社向けに内部通報制度「カンパニュライン」を設置し、セクシャルハラスメントやパワーハラスメントに関する相談をはじめとする人権相談を受け付けています。また、海外グループ会社でも内部通報制度を整備しています。

障がい者雇用を推進

シスメックス(株)は、障がい者の方の雇用を進めています。それぞれの適性や能力を活かして、長期的に活躍できる雇用形態で就業いただいています。2013年度の障がい者雇用率は、1.94%となりました。なお、2013年4月からは法定雇用率が2.0%となったため、その達成を目指して取り組みを強化していきます。

このように採用に注力する一方で、オストメイト(人工肛門・人工膀胱保有者向けのトイレ)などのバリアフリー設備を導入するほか、月に一回安全衛生委員が職場を巡視し、車椅子が通行しやすいように整理されているかを確認するなど、障がい者の方が働きやすい職場環境の整備にも継続的に取り組んでいます。

高齢者雇用――定年退職者再雇用制度

シスメックス(株)では定年を60歳とし、高齢者雇用を推進するための制度として65歳までの定年退職者再雇用制度を運用しています。2013年度は、定年退職者のうち、社内ルールに基づいて16名を再雇用しました。

評価・処遇

能力・成果に基づく公平な人事評価

シスメックス(株)は自主性とチャレンジ精神を尊重し、自己実現と成長の機会を提供するとともに、公正な処遇に努めています。

公正な処遇のベースとなる評価については、「企業価値向上に貢献する能力および成果の発揮に対して報いる」という考え方に基づき、成果のみの評価ではなく、成果発揮にいたるプロセスの評価(コンピテンシー評価)も行っています。また、公平かつ納得性のある人事評価を目指し、評価結果、上司コメントを各個人に開示しています。

人材マネジメントシステムの考え方

1. **長期的な雇用を実現するために**
   - 多様な人材が安心して能力を発揮できる複線型の資格等級フレームを整備し、自己実現と成長の機会を提供
2. **多様な人材の能力開発・育成を推進するために**
   - コンピテンシーを基軸とする資格等級基準を設定し、昇格基準の明確化による人材育成と昇格運用の適正化を促進
   - 成果のみではなく、成果発揮に至るプロセス（発揮能力）を評価し、人材育成と企業風土の変革を促進
3. **企業価値向上に貢献する能力および成果の発揮に対して報いるために**
   - 評価と報酬の関係をシンプルにし、誰にでも分かりやすい制度
   - 仕事の貢献度・役割・発揮能力(コンピテンシー)および成果に連動したメリハリのある報酬体系

社員の将来のキャリア設計をサポート

シスメックス（株）では、全社員を対象とした「自己申告制度」を運用しています。これによって、一人ひとりに自己のキャリアの方向性とライフプランについて考える機会を持ってもらうとともに、申告内容を能力開発や人材配置に活用しています。2013年度は、約97%の従業員が申告しました。

海外統括現地法人の人事制度

米州、EMEA※、中国、アジア・パシフィックの各統括現地法人においては、各地域の法律、文化に対応した人事制度を整備しています。

評価については、基本的に目標管理制度による評価を実施しています。また、米州とアジア・パシフィックでは、一部、コンピテンシー評価も実施しています。人材育成については、タレントマネジメント教育、階層別教育のほか、日本のシスメックス（株）との従業員交換プログラムも実施し、グローバルな人材交流・人材育成を推進しています。

※ EMEA：欧州、中東、アフリカ地域。

モチベーションアップにつながる社内表彰制度を導入

シスメックスは2011年度から、グループで最も貢献した個人および組織・グループを称える表彰制度「グループCEOアワード」を導入し、1年に1度、グループ企業理念「Sysmex　Way」を実践した個人1名、グループ1組を選出して、その功績をたたえ、全社で共有しています。

また、シスメックス(株)では、特許取得に貢献した社員を表彰する「特許表彰制度」も導入しています。2013年度には、研究開発者のモチベーション向上と知的財産に対する意識を高めることを目指して制度を改定し、表彰の種類を、優秀と認められた特許の発明者などに与えられる「特許大賞・優秀特許賞」、特許発明を多数創出した者に与えられる「パテントマイスター」、初めて発明をした者に与えられる「出願記念賞」の3種としました。さらに、品質改善に関する成果を表彰する「品質アワード」も運営しています。

就職機会の均等化を目指して

シスメックス（株）では、性別・国籍・人種・年齢・職歴・障がいの有無を問わず、人物本位で採用を実施しています。

具体的には、就職が不利な状況に置かれている既卒学生や海外留学生などに対する就職機会の均等を図るために、いつでも応募できる通年採用を実施し、2013年度は新卒者65名、ポテンシャル人材3名を採用しました。また、世界中のどこからでも応募できるよう、海外現地での説明会や面接に加え、インターネットを通じたWeb説明会やWeb面接も実施しています。2013年10月に3名、2014年4月に6名の外国人を迎え入れました。

契約社員・派遣社員の正社員登用

シスメックス(株)は、契約社員や派遣社員の正社員登用にも積極的に取り組んでいます。契約期限が限られている有期雇用者に対して、公平に登用機会を提供することを社内規程において明文化するとともに、イントラネットなどで周知徹底を図っています。また、派遣社員に対しては、個別契約を更新する際、一定の条件を満たしている対象者に直接雇用への切り替えを検討してもらうよう派遣会社へ案内しています。

これらの取り組みを継続的に実施してきた結果、2013年度には、契約社員・派遣社員あわせて13名を正社員として登用しました。

正社員への登用実績

	2011年度	2012年度	2013年度
契約社員	13名	10名	12名
派遣社員	10名	7名	1名
計	23名	17名	13名

仕事と家庭の両立支援

仕事と育児の両立支援

シスメックス(株)は、親子ができるだけ長く一緒に過ごせるよう、休暇・勤務時間短縮制度をはじめとして、育児のための多様な制度を制定しています。職種別のフレックスタイム制度を利用できるほか、子どもの看護のために会社を休む際、積立有給休暇を利用できる制度も導入しています。また、研究開発拠点「テクノパーク」内に、従業員から乳幼児を預かる社内託児所「シスメックスキッズパーク」を設置し、常時保育だけでなく、配偶者が非常勤で働いている場合や、保護者の疾病、弔事などにより家族での保育が困難なときなどの一時的な利用にも対応しています。さらに、育児を理由にキャリアを中断した社員に再び働く機会を与える再雇用制度も設けています。これらの制度を計画的に整備してきたことが認められ、2011年度に厚生労働省から次世代認定マーク(愛称「くるみん」)を取得しています。

さらに2014年4月からは、男性社員の育児休業の取得を奨励するため、配偶者出産時の特別休暇を改定。従来は出産後1か月以内に5日取得でしたが、より使いやすくするために出産の前後1か月以内に2日、1歳になるまでに3日取得できる形に変更します。

これらの支援制度は、イントラネット上の専用サイトでわかりやすく解説しています。また、特に利用を推奨している制度については、メールで個別に案内を出しています。

社内託児所「シスメックスキッズパーク」

次世代認定マーク「くるみん」

■ 仕事と家庭の両立支援制度の利用状況（2013年度）

制度	概要	人数
育児のための勤務時間短縮制度	子どもが小学校3年生を終えるまで利用可能※。	利用者51名
休業制度（育休・産休）	育児休業は法定の1歳を超えて2歳まで取得可能。	利用者61名
積立年休制度	家族の看護や介護のために、失効した年次有給休暇を最大10日まで積み立て、利用できる制度。	利用者23名
再雇用制度	育児や介護のために退職した社員を再雇用する制度。	登録者3名
社内託児所	0歳児から小学校就学前までの乳幼児を預けられる託児所。常時保育だけでなく、一時的な利用も可能。	利用児童33名

※ 2014年度から、対象を「小学校6年生を終えるまで」に延長。

育児休業・介護休業後の職場復帰を支援

シスメックス（株）では、育児・介護休業者がスムーズに職場に復帰できるよう支援する制度を2013年2月から導入しています。本制度では、社内メールやイントラネットに接続できるタブレット端末もしくはノートパソコンを貸与することで、休業者が復帰予定の3カ月前から自宅で社内情報を閲覧できるようにしています。利用開始時には上司と面談することを必須としているため、復帰後の働き方を事前に相談する機会を提供することにもつながっています。

休業中、職場と疎遠になることは、復帰後の円滑な職務の妨げにもなります。このしくみを利用すれば、休業者は家庭にいながら社内情報をリアルタイムに入手できるうえ、メールのやりとりを通じて職場とのコミュニケーションの強化が図れます。疎外感や孤独感にさいなまれることなく休業中を過ごし、活き活きと元の職場に復帰できるよう配慮した、IT活用型の支援制度です。

より一層働きやすい職場に向けて

シスメックス（株）では、育児以外にも、あらゆる観点から、従業員のワークライフバランスを実現する制度を整備しています。親や家族の病院受診や入院付添いのために、積立有給休暇を利用することができます。また、介護でキャリアを中断する従業員に対しては、再雇用制度を適用しています。このほか、従業員の多様なニーズに応じた福利厚生を選択できるように、カフェテリアプランを導入しています。

2013年度は、工数管理や計画的な休暇取得ができるよう機能を強化した勤怠管理システムを新規に導入。さらに、管理専門職から一般職までを対象にメリハリのある働き方を推奨する「ポジティブ・オフ」について考える研修を実施しました。また、夫婦が共にシスメックス（株）の社員である場合は、配偶者の海外勤務に休職して帯同し、帰国後に復職できる「海外赴任配偶者帯同休職制度」を新たに導入しました。

さらに、2014年4月からは、つわりや不妊治療に使える「めばえ休暇」や、「ドナー休暇」、「ボランティア休暇」を新設し、休暇についてもさまざまなシーンで利用できる形に組み直しています。また、従業員の親族が要介護状態となり、介護休業を取得した場合、月額10万円を最大1年間給付する「介護休業補償金」を新設します。

こうした配慮を行うとともに、職場の改善に関する従業員の声を収集し、制度や設備の改善に役立てています。例えば、テクノパークなど一部の事業所では、従業員が職場の問題点について意見交換する「運用改善連絡会」を定期的に実施しています。

労使協調

協力して働きやすい職場づくりを推進

シスメックス(株)の労働組合であるシスメックスユニオンには、正社員のうち、役職者や管理部門の一部を除く全員が加入しており、全従業員に占める組合員の割合は、2013年度、67.7%となっています。当社とシスメックスユニオンは協力してワークライフバランスを確保するための制度整備などに取り組んでいます。

2013年度は5月に団体交渉を実施し、「働きがいのある職場の実現」をテーマに意見交換をしました。このほかにも労使協議会を11回開催し、人事評価や労働時間管理、賃金適正化、労働環境の改善などについて議論しました。

従業員の声を経営に反映

シスメックスでは、2年に1回、国内グループ会社の社員を対象とした「企業風土調査」を実施しています。全100項目以上の質問に対する回答を分析し、組織内にある暗黙のルールや価値観、また各種施策の効果のほどを把握することで、当社グループが抱える課題の抽出と解決に役立てています。

また、米州、EMEA※、中国、アジア・パシフィックなどの各地域でも従業員満足度調査を実施しています。このほか、グループ会社のシスメックス国際試薬では、従業員がチームを結成し、業務改善方法などを経営層に提案する小集団活動成果発表会を毎年開催しています。

※ EMEA:欧州、中東、アフリカ地域。

健康と安全への配慮

心身の健康の維持・向上

シスメックス(株)では、定期健康診断に加え、人間ドックや女性がん検診などを実施し、疾病の早期発見に努めるとともに、従業員のメンタルチェックやハラスメントに関する状況把握を行う「ココロの健康診断」も年1回実施しています。健康相談に関しては、全社的な窓口を設け、産業医、保健師と面談できる体制を整えており、メンタルヘルスについては外部相談機関(EAP)も設置しています。

さらに、健康維持のための福利厚生施設として、カスタマーサービスの統括拠点であるソリューションセンターの敷地内にグランドやテニスコート、トレーニング設備を備えた体育館なども設けています。また、従業員自身に健康への関心を持ってもらうためのイベントやセミナーも随時開催しています。2013年度は、社員食堂において、ヘルシーメニュー提供や管理栄養士による健康セミナーや健康相談などを実施しました。

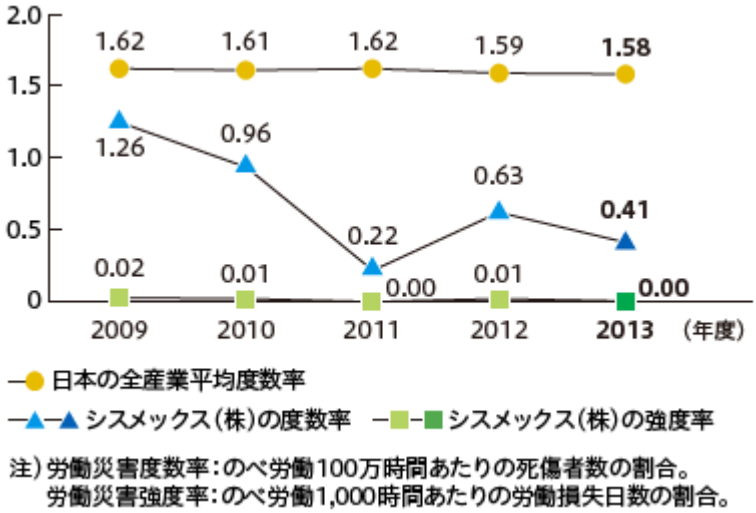
過重労働の防止

シスメックス(株)では、心身の健康を妨げる要因となる「過重労働」の防止にも注力しています。2013年4月には、時間外・休日労働時間に関する社内基準を厚生労働省の指針よりも厳しいものに変更しました。この基準を上回る従業員がいた場合、その上長へ連絡して本人から自己チェック票を提出させ、必要に応じて産業医との面談を実施しています。

安心して働ける職場づくり

シスメックス(株)は、従業員の安全衛生を確保するための指針として「安全衛生規程」を定めるとともに、事業所ごとに、各事業所長(役員)が議長を務める安全衛生委員会を設置し、安心して働ける職場づくりに努めています。事故時の応急措置や退避方法、危険性のある機械や原材料の取り扱い方などについて教育を実施しているほか、市民救命士の育成にも取り組んでいます。

■ 労働災害度数率／強度率（シスメックス（株））



注）労働災害度数率：のべ労働100万時間あたりの死傷者数の割合。
労働災害強度率：のべ労働1,000時間あたりの労働損失日数の割合。

人材育成

体系的・効果的な人材育成を推進

シスメックス(株)では2013年度新たに人材開発体系を整備し、「配置・異動」「評価・フィードバック」「育成・教育」を連携させて体系的・効果的な人材の育成を進める体制を整えました。教育・研修プログラムの実践にあたっては、「選抜型研修」、「階層型研修」、「自律選択型研修」の3つを研修体系の軸として、計画的・段階的な人材育成に取り組んでいます。

2013年度の1人当たり平均研修時間は11.0時間、1人当たり平均研修費用は12万2,000円※となっています。

※ 人事部門が提供する研修対象とし、自己啓発および実地研修など業務の一部に該当するものは除く。

■ 研修体系の3つの軸

研修区分	目的
選抜型研修	● グローバルリーダーの育成 ● 将来的な経営人材の育成
階層型研修	● 階層ごとに最低限必要とするマネジメントや課題解決等の知識・スキルの習得 ● 部門間コミュニケーションの促進
自律選択型研修（Sysmex College）	● 業務遂行における実践的な知識・ノウハウ・スキル ● ビジネス・マネジメント各種知識

製造現場で作業する従業員のスキル向上

医療機器を製造するシスメックスにおいては、製造に携わる従業員の技術向上も重要な課題です。そこで、シスメックス（株）では、実際の作業を体験できる訓練施設「ものづくりトレーニングセンター」を設置し、一年を通じて研修を実施しています。

ものづくりトレーニングセンターでの研修

海外での活動事例

労働安全衛生マネジメントシステムの国際規格OHSAS18001※の認証を取得（ブラジル）

シスメックス・ブラジルは、労働安全衛生マネジメントシステムの国際的な規格であるOHSAS18001の認証を取得しています。

※ OHSAS18001：1996年にイギリス規格協会（BSI）が発行した規格BS8800をもとに、約30の各国審査登録機関、標準団体などが集まって1999年に発行された規格。

オープンな社風づくり（ドイツ）

シスメックス・ヨーロッパでは、マーケティングミーティング、機能ミーティング、部門ミーティングなど、コミュニケーションの機会を多数設けています。各シーズンに行われる全従業員参加のイベントやクリスマスパーティなども、社内コミュニケーションを促す良い機会となっています。

さらに、「オープンドアポリシー」を採用し、従業員がマネージャーと直接対話することを推奨しています。

従業員参加のイベント

取引先との関わり

ー 行動基準 ー

公平・公正を基本とした幅広い取引により、取引先の皆様に安心を届けます。相互の信頼関係と研鑽により、取引先の皆様と共に発展する企業をめざします。

バリューチェーンにおけるCSRの推進

CSRに配慮した調達方針の設定

シスメックス(株)では、調達先の選定や調達取引の基本的な考えを示す「調達方針」を制定し、これに沿ってバリューチェーンの構築を進めてきました。2013年度にはCSRに配慮した調達の推進を目指して本方針を改定し、ヘルスケア分野でグローバルに事業を展開する企業として「BCP(事業継続計画)体制の構築」、「各国の法令や社会規範などを遵守した経営およびCSRの推進」などの項目を追加しました。今後はサプライチェーンの人権にも配慮していきます。

また、この改定にともない、新規の調達先への調査票に、労働安全衛生、人権問題への対処などのCSR項目を追加しています。2013年度は、新規の取引検討先4社に対してCSR評価を実施しました。

調達方針

シスメックスグループ企業理念「Sysmex Way」で定める「ヘルスケアの進化をデザインする」というMissionのもと、公平・公正を基本とした調達活動を行い、取引先の皆様に安心をお届けします。また相互の信頼関係と研鑽により、取引先の皆様と共に発展する企業を目指します。我々は、法令や契約の遵守とともに高い倫理観のもと、ヘルスケア分野で事業展開する企業にふさわしい品質の部品・原材料の安定調達を行い、世界中のお客様に安心してご使用いただく製品をお届けできるよう、本方針に従い活動していきます。取引先の皆様には、下記7項目において、将来の価値の創造、改善につながる取り組みを期待しています。

お取引先様へのお願い

1. ヘルスケアにふさわしい品質
2. 継続的な供給体制の構築
3. ヘルスケアの発展に貢献できる技術力
4. 安定した経営基盤とBCP(事業継続計画)体制の構築
5. 各国の法令や社会規範などを遵守した経営およびCSRの推進
6. 地球環境保全に向けた環境マネジメントの推進
7. 適正価格での供給と積極的な価格低減活動の実施

2014年3月改定

調達先との関係強化に向けて

当社の事業の方向性や調達方針をご理解いただいた上で取引ができるよう、調達先との関係強化に努めています。2013年度は当社の創立45周年記念事業の一環として「創立45周年シスメックスサプライヤー会」を開催し、調達先の皆様へ日頃の感謝をお伝えするとともに、ものづくりのパートナーとしてBCP（事業継続計画）などについて共に考える機会を提供しました。

創立45周年シスメックスサプライヤー会

調達部品・原材料の品質向上に向けて

お客様に、高品質の製品を安定的に提供するためには、調達原材料・部品の品質を維持・向上する必要があります。そこで、2009年度から、品質に関する要求事項を明示した品質保証協定書を作成し、その内容への理解を深めていただくための手引き書も準備したうえで、調達先と契約を締結しています。

また、新規の調達先に対しては、もれなく品質監査を実施し、品質マネジメントシステムが適切に運用されているか確認しています。既存の調達先に関しては、納入された部品の品質監視の結果、是正および予防措置の実施が必要と判断された場合に品質監査を実施しています。

取引におけるコンプライアンスの徹底

調達関連法規制遵守を目指した社内啓発活動

電子調達システム（STM）を構築し、不当な代金減額や返品を防止するとともに、同システムに関する研修を毎年実施しています。2013年度は、研究開発資材を発注する部門の新規配属者・新入社員25名を対象に、資材発注の注意点や下請代金支払遅延等防止法などの法令遵守について説明しました。

販売代理店にコンプライアンスに関する方針などを説明

シスメックスは、販売代理店と良きパートナーシップを維持するために、コンプライアンスの徹底に取り組んでいます。販売代理店との関係において、従業員が遵守すべきルールとして「優越的地位の濫用禁止」「過剰な接待・贈物の禁止」などを定め、これらを遵守しています。販売代理店に対しては、新製品発売時に開催する「製品説明会」などでシスメックスのコンプライアンスに関する方針や活動を説明し、コンプライアンスの重要性と当社の取り組み姿勢を認識いただいています。

なお、海外の販売代理店に対しては、定期的に現地を訪問して打ち合わせをするほか、必要に応じてテレビ会議や代理店会議なども実施し、継続的にコミュニケーションをとっています。

代理店会議（中国）

株主との関わり

― 行動基準 ―

経営の健全性と透明性を高め、積極的な情報開示とコミュニケーションで、株主の皆様に安心を届けます。堅実かつ革新的な経営を推進し、持続的な成長と株主価値の向上に努めます。

情報開示

株主総会・株主懇談会の開催

株主の皆様との直接対話の機会を大切にし、できるだけ多くの方々に総会に参加していただけるよう努めています。

総会後は株主懇談会を開催し、株主の皆様との対話を深めています。2013年度は「安心をお届けするシスメックス」をテーマに、当社の事業活動やIR活動、人事施策、グローバルな社会貢献活動、そして当社に対する社外評価などについてパネルや映像でご説明した後、ご意見・ご質問にお答えしました。

一方、当日、総会に出席することが難しい株主の皆様は、書面やインターネットで議決権を行使することができます。このほか、総会の招集通知と決議通知の読みやすさにも配慮しています。いずれも海外の方のために英文版を作成しているほか、カラーの招集通知をお配りし、Webでも閲覧できるようにしています。

株主懇談会

さらなる情報開示の充実を目指して

シスメックスでは、証券取引に関する法令や証券取引所の定める適時開示規則などを遵守することはもとより、当社独自の基準を設け、投資判断に影響を与えると判断した情報を積極的に開示するよう努めています。

年2回の決算説明会（期末・第2四半期決算時）に加え、2011年3月期の第3四半期より、さらなる情報開示の充実を目指し、第1・第3四半期決算発表時に、カンファレンスコールを開催しています。

外部からの評価

「個人投資家向け情報提供における優良企業」に2年連続で選定

2013年度、シスメックスは、日本証券アナリスト協会ディスクロージャー研究会が主催する「証券アナリストによるディスクロージャー優良企業選定」の「個人投資家向け情報提供における優良企業」に2年連続で選定され、全業種の評価対象企業200社の中で第2位にランキングされました。

個人投資家向け会社説明会において社長などが説明を行い、内容の面でもビジネスモデルを理解しやすいようシンプルな構成としていること、さらにホームページ上で動画配信を行っていることなどが高く評価されました。

「証券アナリストによるディスクロージャー優良企業選定」授賞式

社会貢献活動

基本的な考え方

シスメックスは、今後の社会貢献活動の方向性を示した社会貢献方針を2012年5月に制定しました。

社会貢献方針

シスメックスは、豊かな健康社会、活き活きとした地域社会作りにつながる社会貢献活動を積極的に行うとともに、従業員の主体的な社会貢献活動を支援します。

- **豊かな健康社会への貢献**
  ヘルスケア企業としての特徴を活かした社会貢献活動を積極的に展開し、より豊かな健康社会づくりに貢献します。
- **活き活きとした地域社会への協力**
  「企業市民」として社会と価値観を共有し、社会貢献活動への賛助ならびに自らもその活動に参画することにより、活き活きとした地域社会の実現に協力します。
- **従業員の社会貢献活動への支援**
  従業員がグループの一員であることに誇りをもち、市民として社会貢献活動を主体的に実践できるように支援します。

2012年5月制定

従業員の社会貢献活動を支援する制度

シスメックスでは、従業員の社会貢献活動を促進するために2014年4月に「社会貢献ポイント制度」を導入しました。この制度は、従業員が個人で社会貢献活動を行ったり、会社主催の社会貢献イベントに参加するとポイントを取得でき、貯まったポイントに応じて会社から救急医薬品キットや抗マラリア薬、ワクチンなどが途上国に寄付される仕組みです。どのような寄付をするかは従業員自身が選ぶことができます。

この制度の運用を通じて、従業員が社会の一員として社会貢献活動を主体的に実践できるよう支援していきます。

社会貢献活動：健康社会づくり

神戸医療産業都市構想への参画

「神戸医療産業都市構想」は、産官学が協力して神戸市への医療・産業の集積を図るプロジェクトです。

シスメックス(株)は、プロジェクトの中心的な拠点の一つである「臨床研究情報センター」内に「シスメックス浅野研究室」を2007年1月に開設しました。本研究室は2014年3月に「シスメックスIBRI」と名称を改め、様々な医療機関・企業等と共同研究を促進する場（オープンラボ）として、これまでで進めてきた免疫疾患診断技術を軸として、研究の幅をさらに広げていきます。

寄附講座の開設

2004年度から、神戸大学大学院医学研究科に寄附講座「立証検査医学（シスメックス）」を開設しています。同講座では、これまで、膠原病・リウマチなどの自己免疫疾患に関する調査研究をはじめとした新規臨床検査技術の研究活動が進められてきました。今後は、近年課題とされている「個別化医療」の実現に向けて、新たな臨床検査法の開発と、有用性の検証が進められます。本研究は、正確な診断を実現するのみならず、最も効率的で副作用の少ない医療を患者さんに提供できる方法論の確立につながるもので、社会に多大な貢献をもたらすと期待しています。

このほか、電子計測技術の発展を支援するために設立した「中谷電子計測技術振興財団」は、2012年に公益財団法人に移行するとともに「公益財団法人中谷医工計測技術振興財団」と改称し、生体に関する計測技術・関連技術についての研究助成と研究者の表彰を実施しています。今年度は設立30周年を迎え、研究助成を拡大したほか、留学助成や中学・高校の科学教育振興助成にも事業を拡大しました。

設立以来、2013年度までの延べ助成件数は321件、累計助成金額は6億304万円となっています。

献血への継続的な協力

献血時に用いる検査機器を提供しているシスメックスでは、自らも積極的に献血活動に参加しています。例えば、テクノパーク、加古川工場、小野工場、西神工場などでは、毎年回数を定めて、社員が地元兵庫県の赤十字センターの献血活動に協力しています。

こうした活動が評価され、2013年8月に開催された「平成25年度兵庫県献血功労感謝のつどい」では、加古川工場が金色有功賞を、小野工場が銀色有功賞を、日本赤十字社から贈られました。これらの章は日本赤十字社の活動に大きな貢献をした人物や組織に贈られるもので、今回の受賞では、それぞれ20年、15年以上にわたって献血活動を継続してきたことが評価されました。

加古川工場が受賞した金色有功章

市民救命士講習会の開催

シスメックス（株）では、毎年、テクノパーク／ソリューションセンターで「市民救命士講習会」を開催しています。市民救命士講習とは、神戸市の認定を受けた民間救急講習団体（FAST）が実施する講習で、傷病者が発生したときにその場で適切な対処を行える市民救命士の育成を目的としています。

2013年度は11月に付近の地域福祉センターから講師を招いてソリューションセンターで開催しました。当日は18名の参加者が胸骨圧迫（心臓マッサージ）や人工呼吸、AEDの取り扱いといった心肺蘇生の一連の流れを実技ベースで学びました。

市民救命士講習会での訓練

海外協力事業への協力

シスメックスでは、海外協力事業として、外務省やJICAなどによる新興国・途上国の医療水準向上に関わる事業への機材提供（円借款および無償援助案件等）に参加しています。

また、毎年、JICAの研修生を当社施設に受け入れ、研修を実施しています。2013年度には当社ソリューションセンター、加古川工場などで計3回の研修を実施し、アフリカや大洋州、中央アメリカなどからの研修生が受講しました。

JICA研修生

社会貢献活動：地域社会への協力

本社所在地兵庫県への貢献

地域の方々との交流イベントを開催

シスメックス（株）は、地域住民の方々を当社所有の建物にお招きし、交流を深めるイベントを毎年開催しています。2013年5月には「テクノパークフェスタ」を開催し、健康に関する講演会やヘモグロビン推定値の測定体験などを行い、約700名の方々にご来場いただきました。

2013年度はこれに加え、11月30日からの2日間、「みなと異人館」を一般公開しました。みなと異人館は1906年に建造された神戸市の歴史的建造物で、老朽化のため2008年から閉鎖されていました。これを2012年9月に当社が借り受け、修繕した上でゲストハウスとして活用しています。一般公開では、館内を公開するだけでなく、神戸の歴史を紹介する写真展や、一般の方に気軽に楽しんでいただけるイベントを併催し、約250名の方々にご来場いただきました。今後も定期的に地域の皆様へ公開していく予定です。

テクノパークフェスタ

みなと異人館での写真展

地域振興の支援

シスメックス（株）は、地元兵庫県の地域振興を目的とするイベントなどに対して寄付や協賛を通じて支援しています。

●「神戸ルミナリエ」に協賛

1995年阪神・淡路大震災で亡くなられた方々の鎮魂の意を込めるとともに、神戸・兵庫の復興・再生への夢と希望を託して始まった「神戸ルミナリエ」に毎年協賛しています。

●神戸市立王子動物園の「動物サポーター制度」に協力

「動物サポーター制度」は、企業や個人が動物のサポーターとなって動物園の運営を支援するもので、当社はパンダのサポーター企業となっています。

●「KOBE JAZZ FESTIVAL」に協賛

神戸のジャズ文化の発信とジャズミュージシャンの後継者育成を目的として、プロのジャズアーティストとともに地元の中学・高校・大学のジャズバンドを迎えて開催されるコンサートイベント「KOBE JAZZ FESTIVAL」に協賛しています。

環境保全への貢献

シスメックス（株）では、2008年度に環境保全活動に関心がある従業員が「エコチーム」を結成し、環境保全活動に取り組んでいます。

2013年度は、2010年度から継続して参加している六甲山（兵庫県）の植樹・育樹活動「鶴甲の森づくり」に参加しました。また、各事業所で付近の清掃を行う「クリーン作戦」を実施し、地域環境の向上を図りました。また、グループ会社でも、従業員ボランティアによる拠点周辺の清掃活動などを実施しています。

鶴甲の森づくり

地元青少年の育成支援

シスメックス（株）では、地元の中学生や高校生・大学生・検査技師学校の学生などの企業見学を積極的に受け入れています。また、兵庫県下の中学生を対象に実施されている職場体験プログラム「トライやるウィーク」や、兵庫県下の理数系の高校生が研究成果を発表し、企業、大学、研究機関と交流するイベント「サイエンスフェアin 兵庫」にも毎年参加しています。

2014年2月に開催された「第6回サイエンスフェアin兵庫」では、採血せずに血液中のヘモグロビン推定値が測定できる当社製品ASTRIMによる健康チェック体験や事業紹介のポスター掲示などを実施しました。ASTRIM測定体験は200人近くの方々に体験していただき、好評を博しました。

第6回サイエンスフェアin兵庫

その他地域への貢献

インターンシップ生の受け入れ

シスメックスでは、日本はもちろんのこと、事業を展開する海外地域からも就業体験を希望する学生を受け入れています。

これまで韓国や中国、ロシアなどからインターンシップ生を受け入れており、2013年5月は、インド・タイから計6名の学生を日本に招き、工場見学や装置のメンテナンス、物流業務などを体験してもらいました。これらの取り組みは、海外の学生に興味をもってもらうきっかけとなるものです。地域社会と共に発展していくことを目指して、今後も取り組みを続けていきます。

インドからのインターンシップ生

タイからのインターンシップ生

環境保全活動

行動基準

法令遵守はもとより、常に高い倫理観にもとづいた事業活動を推進し、社会の全ての皆様に安心を届けます。環境問題をはじめ地球や社会が抱える様々な問題の解決に、社会と共に取り組みます。

環境方針

私たちは、ヘルスケア分野にかかわる企業として、地球環境保全活動を通じて、豊かな健康社会づくりに貢献します。

行動基準

1. 環境保全を重視した事業活動を行い、社会の全ての皆様に安心をお届けします。
2. 製品のライフサイクルの各段階において、環境への影響を考慮し、環境に配慮した製品・サービスの提供に努めます。
3. すべての事業活動において、省エネルギー、省資源、廃棄物の削減、リサイクルを推進し、化学物質の適正管理に努めます。
4. あらゆる国または地域の適用される環境に関する法令、規制、協定などを遵守します。
5. 環境保全活動の継続的な改善を行い、汚染を予防し、私たちの製品が環境に与える影響を最小限にするように努めます。
6. 環境教育・啓発を通じて環境意識の向上を図るとともに、地域・社会の一員として環境保全活動を通じた社会貢献に取り組みます。
7. 環境方針から環境目的・目標を設定し、計画的に目標達成に取り組みます。

2009年5月改定

環境保全活動：環境マネジメント

環境マネジメント体制

環境方針

私たちは、ヘルスケア分野にかかわる企業として、地球環境保全活動を通じて、豊かな健康社会づくりに貢献します。

行動基準

1. 環境保全を重視した事業活動を行い、社会の全ての皆様に安心をお届けします。
2. 製品のライフサイクルの各段階において、環境への影響を考慮し、環境に配慮した製品・サービスの提供に努めます。
3. すべての事業活動において、省エネルギー、省資源、廃棄物の削減、リサイクルを推進し、化学物質の適正管理に努めます。
4. あらゆる国または地域の適用される環境に関する法令、規制、協定などを遵守します。
5. 環境保全活動の継続的な改善を行い、汚染を予防し、私たちの製品が環境に与える影響を最小限にするように努めます。
6. 環境教育・啓発を通じて環境意識の向上を図るとともに、地域・社会の一員として環境保全活動を通じた社会貢献に取り組みます。
7. 環境方針から環境目的・目標を設定し、計画的に目標達成に取り組みます。

2009年5月改定

環境活動の推進

シスメックスは、「シスメックスグループ環境行動計画（シスメックス・エコビジョン2020）」(2010年度策定、2012年度改訂)の目標達成に向けてグループで取り組んでいます。

2013年度には、グループ各社の責任と役割を明確化してグループとしての環境マネジメントを強化するため、グローバル環境マネジメント規程を制定しました。そして、シスメックス（株）の専務執行役員が環境マネジメントオフィサーとしてグループの環境マネジメントを統括・管理し、その指示のもと、各地域または事業分野ごとに環境活動を推進できるよう、グローバルな環境マネジメント体制の整備を進めています。

ISO14001の認証を取得

シスメックスでは、グループの主要な関係会社で環境マネジメントの国際規格「ISO14001」の取得を進めており、2014年4月末現在、累計19拠点で取得を完了しています。

また、2013年度には、シスメックス（株）とシスメックス国際試薬の認証にシスメックスRAとシスメックスメディカの認証をあわせて、国内ISO14001の認証を統合しました。国内グループ各社の環境活動を一元化して、活動の進捗状況や問題点をグループとして把握することでマネジメント活動の強化を目指しています。

ISO14001認証取得状況

会社名	事業所	取得時期
シスメックス（株）	加古川工場	2000年4月
	テクノパーク	2002年2月
	本社	2002年2月
	ソリューションセンター	2005年11月
シスメックス国際試薬	小野工場	2001年3月
	西神工場	2007年6月
シスメックスメディカ	―	2001年3月
シスメックスRA	―	2008年6月
シスメックス・ヨーロッパ	ノイミュンスター工場	1999年11月
	本社	2011年10月
シスメックス・ドイツ	―	2011年10月
シスメックス・ブラジル	―	2006年5月
シスメックス・アメリカ	―	2009年12月
シスメックス・リージェンツ・アメリカ	―	2009年12月
シスメックス・ニュージーランド	―	2011年5月
シスメックス・インディア	―	2012年3月
シスメックス・アジア・パシフィック	―	2012年4月
シスメックス・ミドルイースト	―	2013年3月
シスメックス・無錫	―	2013年6月

環境監査の実施

2013年度、認証統合をした国内グループ4社では、法規制の「順守評価」に加え、「内部環境監査」、さらに外部審査機関による「外部環境監査」を実施しました。

内部環境監査では2件、外部環境監査では3件の不適合が見つかりましたが、それぞれ是正対応を完了しています。

毒物・劇物の管理

2014年2月、シスメックス国際試薬（株） 西神工場においてアジ化ナトリウム46.2gが紛失していることが判明したため、直ちに社内調査を実施しましたが発見に至りませんでした。

この物質は臨床検査用試薬の製造に用いるもので、毒物及び劇物取締法の対象となることから、警察に紛失届を提出しました。今後は管理体制をさらに強化し、再発防止に努めます。

環境保全活動：環境計画と実績

計画・目標

システックスグループ環境行動計画（システックス・エコビジョン2020）／中期環境目標

	システックス・エコビジョン2020の長期環境目標（改訂版）	中期環境目標（2013～2015年度）	2013年度の活動・実績
製品・サービス等の環境配慮	環境に配慮した製品・サービスの提供	環境に配慮した製品・サービスの提供	● RoHS指令適合に向けた活動の推進 ● 消費電力削減に向けた製品開発の推進 ● 試薬に使用する主要原料について、動物由来原料から人工的に作成したタンパク質への切り替えを推進 ● 製品の容器包装・梱包材の使用量削減の推進 ● サービスの効率化によるCO_2削減に 向けた、アジア地域のリモートサービス の拡大推進
	国内・域間物流のCO_2排出量50%削減（トンキロ原単位）※1 基準年度 2010年	国内・域間物流のCO_2排出量30%削減（トンキロ原単位）※1 基準年度 2010年	● 海外への輸出について、航空便から海上輸送への切り替え推進 **2013年度実績：0.15** **基準年度(2010年度)：0.14** **対基準年度：3%増**
事業所の環境配慮	事業所における温室効果ガス排出量50%削減（連結売上高原単位）※2 基準年度 2008年	事業所における温室効果ガス排出量25%削減（連結売上高原単位）※2 基準年度 2008年	● 設備導入による温暖化対策（空調の室温管理徹底、省エネ蛍光灯の導入、階段照明への人感センサー設置など）（各事業所） ● 再生可能エネルギーを扱う電力会社から購入（システックス・ヨーロッパ） ● 太陽光発電の利用によるCO_2排出量削減（システックス・ヨーロッパ ノイミュンスター工場） **2013年度実績：8.19** **基準年度(2008年度)：10.07** **対基準年度：20%減**
	事業所のリサイクル率93%以上の達成※3	事業所のリサイクル率90%以上の達成※3	● 廃棄物処理業者の見直しを実施（テクノパーク） ● 外注包装材料の再利用（システックス・無錫） **2013年度実績：88.9%**
	試薬工場の水使用量10%削減（生産量原単位）※4 基準年度 2008年	試薬工場の水使用量3%削減（生産量原単位）※4 基準年度 2008年	● 新純水装置の導入（済南システックス） ● 浄化処理後の工場排水の再利用（システックス・インディア） **2013年度実績：22.0** **基準年度(2008年度)：21.5** **対基準年度：3%増**

※1 シスメックス(株)

※2 工場および主要事業所
国内・海外グループ12工場(日本5、ドイツ、アメリカ、ブラジル、中国2、インド、シンガポール)
国内・海外主要事業所8拠点(日本4、ドイツ、アメリカ、中国、シンガポール)

※3 工場および主要事業所のうち製品・化学物質を取り扱う事業所
国内・海外グループ12工場(日本5、ドイツ、アメリカ、ブラジル、中国2、インド、シンガポール)
国内・海外主要事業所6拠点(日本2、ドイツ、アメリカ、中国、シンガポール)

※4 試薬工場(9拠点)

製品の環境配慮

法規制への対応

2011年7月に改正RoHS指令※が発効し、これによって当社の製品では2016年7月から検体検査機器、動物用検体検査機器に同指令が適用されることとなりました。

シスメックスでは、この改正RoHS指令に適合できるよう、欧州へ出荷している製品の部品調査を進めています。2014年度には、その調査を完了させた上で、対応の必要な部品について設計変更などを行い、2015年度中の適合完了を目指して取り組みを進めています。

※ RoHS指令:EU(欧州連合)で販売される電気電子機器に含まれる有害化学物質の使用禁止を定めた指令。重金属(鉛、カドミウム、水銀、六価クロム)と、ダイオキシン類の発生原因となる特定臭素系難燃剤(PBB、PBDE)の使用全廃を要求したもの。

省エネ、小型化等の製品の開発

シスメックスでは、お客様先での省エネルギーに貢献するため、検体検査機器の省エネ・小型化に向けた技術開発に取り組んでいます。

また、製品などの輸送時に発生する環境負荷を低減するため、梱包材の使用量削減や、梱包方法の効率化などにも取り組んでいます。

環境にも配慮した診断薬原料生産手法を確立

シスメックスでは、診断薬の原料タンパク質に関して、カイコによる生産手法を確立しました。またこの技術を用いて、2012年度から受託生産ビジネスも本格的に開始しており、すでに多くの製薬企業様から注文をいただいています。

従来これらのタンパク質は、哺乳類などの細胞を、環境制御タンク(無菌、温度、酸素濃度等)などの機械設備で生産していたため、多くのエネルギーを消費していました。一方、カイコは一般室内飼育が可能であり、容器内で人工餌を与えるだけでよいため、省エネルギーや廃棄物削減が期待できます。

タンパク質生産に用いられるカイコ

サービスなどの環境配慮

環境に配慮したサービスモデル

シスメックスでは、サービスを効率化することで、環境負荷の低減を図っています。

例えば、カスタマーサポートセンターの充実を図るとともに、SNCSによるお客様との双方向ネットワークをグローバルに構築し、検査装置のダウンタイムの最小化を図っています。

これによってシスメックスの担当者がお客様先を訪問する頻度を減らすことができ、社用車のガソリン使用量やCO_2排出量の抑制につなげています。

物流におけるCO_2排出量削減

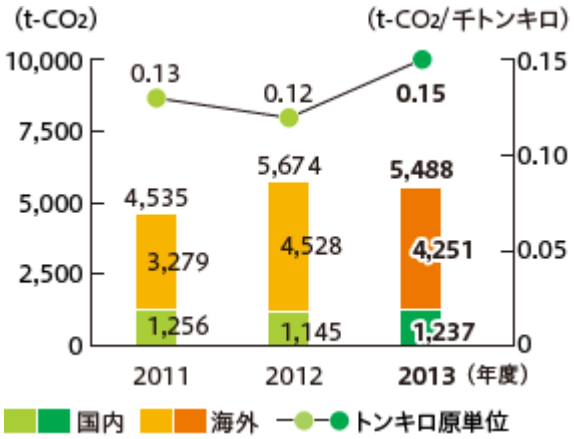
物流工程でのCO_2排出量についても、取り組みを進めています。海外への輸送については、航空便から海上輸送への切り替えを進めていますが、緊急品の航空輸送が多くなっていることから、海上輸送コンテナの積載効率を向上させて計画的な船便出荷を実施することで緊急品の出荷を低減させる取り組みも開始しました。

2013年度のCO_2排出量は、トンキロ※原単位換算では前年度比で約3%増加しましたが、海上輸送への切り替えの推進などにより、実数比較では約3%減少しています。

※ トンキロ：貨物輸送量を表す単位のことで、貨物のトン数とその貨物を輸送した距離（km単位）を掛け合わせたもの。例えば、1トンの貨物を1km運んだ場合は「1トンキロ」と表す。

	2011年度	2012年度	2013年度
国内輸送	1,256t-CO_2	1,145t-CO_2	1,237t-CO_2
海外への輸送	3,279t-CO_2	4,528t-CO_2	4,251t-CO_2

物流におけるCO_2排出量



注）集計範囲は、国内物流倉庫から国内顧客および海外各地域の港、空港までのCO_2

事業所の環境配慮

事業所での温室効果ガス排出量削減

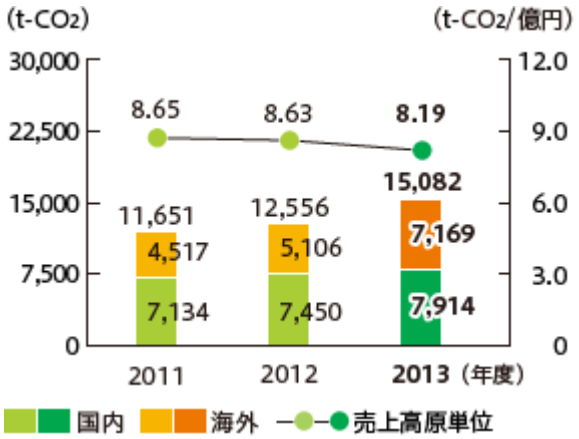
事業所における温室効果ガス排出量を削減するために、各事業所でさまざまな活動を進めています。

工場を含む各事業所では、夏期・冬期の室温管理の徹底、階段照明などへの人感センサーの設置、省エネ蛍光灯・LED照明の導入など、それぞれの事業所の特性にあった省エネ対策を実施しています。一部事業所ではデマンド監視機能も設置し、電力使用量を総量で管理しています。

これらの取り組みの効果もあり、2013年度の温室効果ガス排出量（連結売上高原単位）は、前年度比で約5%削減することができました。

LED照明（小野工場）

■ 事業所での温室効果ガス排出量



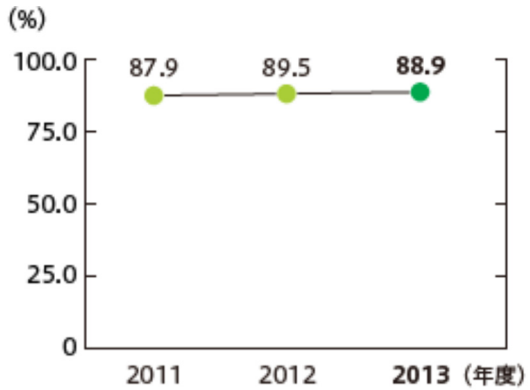
注）集計範囲：工場および主要事業所
国内・海外グループ12工場（日本5、ドイツ、アメリカ、ブラジル、中国2、インド、シンガポール）
国内・海外主要事業所8拠点（日本4、ドイツ、アメリカ、中国、シンガポール）

事業所での廃棄物の削減

廃棄物処理業者の見直しを実施するなど、廃棄物の削減やリサイクル率向上にも継続的に取り組んでいます。例えば、シスメックス・無錫では外注包装材料の包装用PE袋を生産・開発の場所で使用したり、生活用ごみ袋として再利用するなど廃棄物の削減にも取り組んでいます。また、国内では、社員食堂など生ごみが多く出る事業所で生ごみ処理機の活用を進め、生ごみを肥料に変えるなど、各拠点でさまざまな取り組みを継続的に実施しています。2013年度は、テクノパークで完全消滅型の生ごみ処理機を設置し、可燃ごみを約20%削減しました。

これらの取り組みにより、グループのリサイクル率は、毎年安定した水準を維持しています。

■ 事業所のリサイクル率

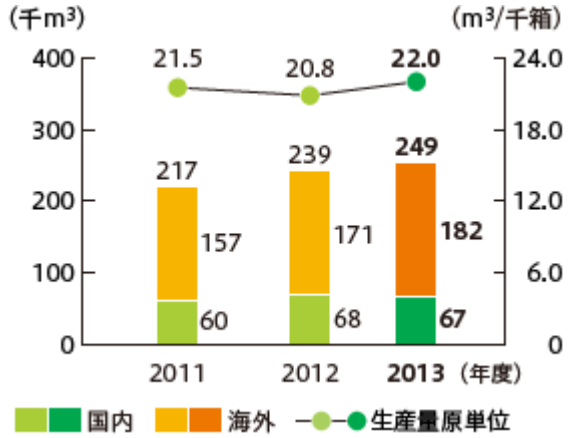


注）集計範囲：工場および主要事業所のうち製品・化学物質を取り扱う事業所
国内・海外グループ12工場（日本5、ドイツ、アメリカ、ブラジル、中国2、インド、シンガポール）
国内・海外主要事業所6拠点（日本2、ドイツ、アメリカ、中国、シンガポール）

事業所での水使用量削減と適切な排水処理

水の使用効率を高め、水使用量の削減にも取り組んでいます。シスメックス・インディアで浄化処理後の工場排水を工場内の緑地へ引いて、水やりに使用しているほか、各拠点で取り組みを進めていますが、生産量の増加や工場の増改築などの影響もあり2013年度は、前年度比で約3%増加しました。

■ 試薬工場での水使用量



注) 集計範囲:試薬工場(9拠点)

その他

国内社用車のCO_2排出量削減

約400台ある国内の社用車からのCO_2排出量を削減するために、イントラネットを利用して各車両の走行量、使用ガソリン量を「見える化」し、ドライバーの意識向上を図るなどの取り組みを行っています。このほか、低燃費車やハイブリッドカーの導入などに取り組みましたが、集計対象範囲を拡大したことなどにより、2013年度の国内社用車からのCO_2排出量は、前年度比で約5%増加しました。

感染性物質の厳重な管理と適切な処理を徹底

シスメックス国際試薬では製品の原材料として、テクノパークでは研究開発の実験材料として、生物由来の物質を取り扱っています。これらは感染の危険性があるため、万が一に備え、マニュアルに基づいて保管・使用場所を制限するなど厳重に管理するとともに、一般廃棄物とは厳格に分別して適切に処理しています。

電子化などによる紙使用量の削減

シスメックス(株)では、タブレット端末を導入し、ペーパーレス会議を推進しています。これによって紙の使用量・廃棄量削減、印刷・配布などの事前準備の工数削減に取り組んでいます。また、事前に資料のデータを出席者に配付できるようになったことで、会議の効率化にもつながっています。

また、サプライヤー向けの製品部品図面を、紙ではなく電子データで提示することでも紙使用量を削減しています。

グリーン調達の推進

シスメックスでは、「グリーン調達基準」を制定し、調達先の環境意識の啓発を図っています。また、製品への使用を制限・削減する化学物質をWebサイトで公開し、部品・材料の調達先に協力を要請しています。

環境保全活動：グリーン調達

グリーン調達を推進

シスメックスでは、製品の環境負荷を低減することはもとより、サプライヤー様も含めた生産活動を通じた環境負荷を低減するため、グリーン調達を推進しています。また、責任ある企業市民として、環境に配慮した購買取引を行うことを調達方針のひとつに位置付けています。

グリーン調達基準

調達活動における環境配慮への基本的な考え方として、「グリーン調達基準」を制定しています。

グリーン調達基準

1. **目　的**
   シスメックスグループは、地球環境保全を進めることにより企業の社会的責任を果たすという環境基本方針を基に、環境に配慮した製品づくりを推進するため、地球環境への負荷が少ない原材料・部品の調達を推進し、環境保全活動に意欲的なサプライヤーの皆様と共に持続可能な社会の発展を目指します。
2. **グリーン調達の方針**
   シスメックスグループは、調達活動における、当社製品の環境負荷を低減することはもとより、サプライヤー様も含めた生産活動を通じた環境負荷を低減するため『グリーン調達』を実施します。グリーン調達の具体的な取り組みとして、以下の2項目を推進します。
   1）環境負荷が少ない原材料、部品の調達を推進します。
   2）環境保全に意欲的なサプライヤー様との取引を拡大します。
3. **適用範囲**
   シスメックスグループにおける原材料・部品および製品の調達活動に適用する。
4. **製品使用化学物質の管理**
   シスメックスグループは、開発・製造する製品に使用する原材料・部品の選定にあたっては、必要な品質・機能・経済的合理性に加え、環境負荷を低減するため、以下に示す化学物質を使用していない原材料・部品を採用するものとします。
   1）製品に使用する化学物質の制限で定めている禁止物質を含有していないこと
   2）製品に使用する化学物質の制限で定めている化学物質の含有量が把握されていること
   3）使用にあたり、化学物質、大気汚染、水質汚濁、土壌汚染発生等の環境負荷が低いこと
   4）資材に関する環境情報を公開していること
   5）梱包材についても、上記内容と同様、化学物質の含有量削減等がなされていること

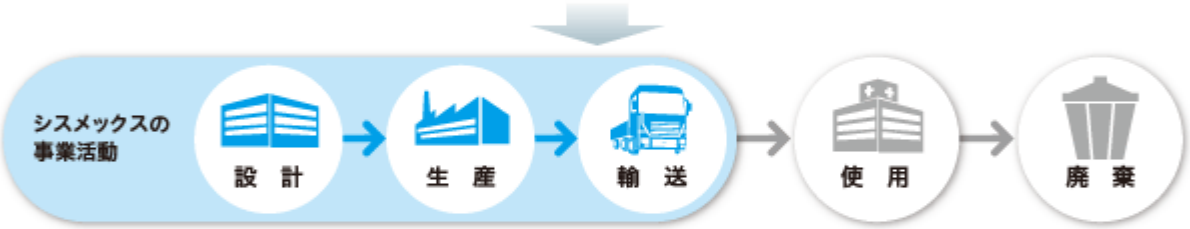
以上
2014年11月改定

環境保全活動：環境データ

事業活動にともなう環境負荷

INPUT

		2012年度	2013年度
1	電気使用量（千kwh）	28,154	34,519
1	都市ガス（千m^3）	1,044	1,185
1	LPG（m^3）	5,337	5,671
1	LNG（m^3）	0	0
1	重油（kL）	0	0
1	灯油（kL）	62	68
1	軽油（kL）	19	19
4	国内社用車ガソリン（kL）	748	795
4	国内社用車軽油（kL）	3.3	11.7
3	水使用量（千m^3）	332	346
5	OA用紙（t）	53	50
4	PRTR（t）	7.2	7.9



OUTPUT

		2012年度	2013年度
1	事業所温室効果ガス排出量（t-CO_2）	15,988	20,194
4	国内社用車ガソリン（t-CO_2）	1,746	1,830
2	廃棄物等総排出量（t）	1,164	1,274
2	リサイクル率（%）	89.2	89.1
3	水排出量（千m^3）	144	144
4	PRTR（t）	0.7	4.8

1 シスメックス（株）の全事業所、国内関係会社、工場および統括現地法人
2 シスメックス（株）の全事業所（リサイクル率は支店・営業所を除く）、および工場
3 シスメックス（株）の製品・化学物質を取扱う事業所および工場
4 シスメックス（株）の全事業所および国内工場
5 国内グループのISO14001認証取得事業所

注）国内ISO14001認証の統合にともない、5 の集計範囲を変更したため、OA用紙使用量を2013年度発行の「シスメックスあんしんレポート2013」に記載している数値から更新しています。また、海外統括現地法人で1社集計に誤りがあり、都市ガス使用量を修正しています。